

◆小泉改造内閣に関する会頭コメント（2002年9月30日）

構造改革を旗印に発足した小泉政権でしたが、世界的な同時不況に直撃されて、経済はデフレ不況に陥り、当初の目標は後回しにして、まず景気を良くして欲しいという声が日本中から起こっています。

しかし、この二つの目標は相矛盾するものではなく、表裏一体のものです。官から民へ、中央から地方へという行財政改革を推進しながら、国民が自分の立場で、自信をもってこの不況に立ち向かうことで景気を押し上げていくしか道はありません。

今回の改造人事が小幅な人事に押さえられたことは、小泉内閣の構造改革にかける決意の表れだと思います。今後の取り組みに大いに期待したいと思います。

京都商工会議所
会頭 村田純一